

謹啓

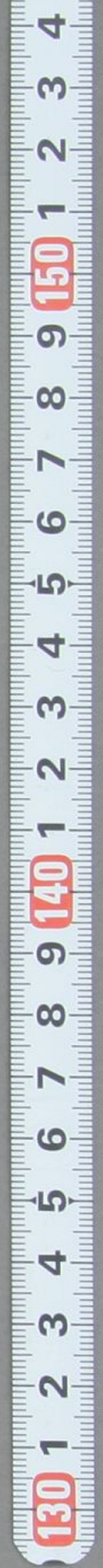
伊藤氏萬歲 謹啓
と備へて、
政治的密向物人。

湖石の飽はる我の阻受
と若菜を共て生れ死
を同くせしむるは切
と希ふ所あり、

責任を以てし伊藤氏
は正視せざるべからず、而
して公衆の聯立内閣
能く可成らざるべからず

と能くも政府と自由
党の後を踏むるは
の嫌や、如きは大臣
の各用たり、

四



的意固持。

四

閣下の進歩は百歩と驚
動—我老をさるは法す
好く閣下の進歩を法す
有る孰そは我老の伴
識名以識士と法すあ
んことを希ふ
それとあまうお年あ
我老と思ふまゝなりと
おもはれんことを、
熱心の餘り不肖を顧
みよのめはく敬て言
上す。頓首百拜

赤坂儀作

十一月七日

大隈閣下

大隈重信親筆



福島縣東白川町
敷川古本松儀代